

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所 (所在地: 東京都品川区)

事業名

生涯学習の土台をつくる。アクセシブルな図書の普及事業「りんごプロジェクト」

事業の趣旨・目的

- ・ 障害者が利用できる図書資料の普及啓発を推進することにより、障害者の学校卒業後の**学びの継続**が可能となる環境整備を行う
- ・ 図書館の障害者サービスの向上をはかることで**障害者理解を深め**、当事者の**主体的な学び**の機会を増やす
- ・ 日々の生活の中での障害者の読書機会を拡充させ、豊かな学びを提供する

事業実施体制・連携先

NPO法人ピープルデザイン研究所／りんごプロジェクトが主体となり事業を実施。行政・企業・団体・学校・市民などと連携しながら活動を拡大し、各地域での自発的なアクションへの繋げていく。
連携先) 神奈川県川崎市・横浜市教育委員会事務局、島根県立大学、読書バリアフリー専門家、横浜市学校・地域コーディネーター、ボランティア、障がい当事者、出版社、図書館関係者、教育関係者、大学生など

事業内容

【体験会】

令和5年度までの実績を踏まえ、体験会の開催を拡大。
あわせて広報活動も積極的にを行う。

▷内容

- ・ 読書の困難を抱える当事者や一般市民に向けたアクセシブルな図書の体験会、研修会、点字体験会など
- ・ 講師によるレクチャーのあとアクセシブルな図書の体験、質疑応答

▷アクセシブル図書の種類

点字・拡大文字・音声デジター・マルチメディアデジター・点字付き絵本・ユニバーサル絵本・布の絵本・LLブックなど

▷参加について

障害の有無はもちろん職業や年齢等に関わらず参加可能。
なお体験会プログラムへの参加費は基本無料。

【学校(通常級)への授業】

令和5年度の反響を受け、小中学校、高校、大学での授業を開催。

▷内容

- ・ 活動の説明、アクセシブルな図書の説明と体験
- ・ 生徒主体で学校図書館への「りんごの棚」の設置や学内外での体験会の実施などを旨とし、そのアクションを継続サポート
- ・ 通常級への授業を通じて健常な学生に対して障害の社会モデルや学びの多様性に対する理解を深める
- ・ 若い世代からも障害者の生涯学習の機会を広める機運を醸成する

【成果報告会】

「超福祉の学校@SHIBUYA」イベント(渋谷ヒカリエ)において、シンポジウムと体験会を開催予定。

事業終了後の目指す方向性

- ・ アクセシブルな図書の普及で障害者の生涯学習の土台をつくり、**障害者の学習スキルや情報収集能力が向上し、学校卒業後の学びの継続**を可能としていく。
- ・ 障害当事者のみならず広く一般市民にもアクセシブルな図書の魅力を伝え、その必要性をワクワク感を持って普及啓発させていくことで**共生社会の実現**を目指す
- ・ **障害者の生涯学習を社会全体の課題として認知させ**、インクルーシブ教育に向けた学校教育の改善へと寄与していく
- ・ 読書バリアフリーの周知が進むことで「りんごの棚」の設置が進むなど**全国の図書館の障害者サービスの質の向上が図られる。結果、障害者の生涯学習の機会が増える。**

その他



りんごプロジェクト
ホームページ



読書バリアフリー
啓発動画



超福祉の学校
シンポジウム動画